

つくばエクスプレス（TX）の県内延伸方面（案）に対する意見募集の結果について

茨城県では、第2次茨城県総合計画に位置付けるTXの県内延伸方面案（土浦・茨城空港・水戸・筑波山の4案）の選定に際し、県における検討結果及び延伸方面に関する県の考えを示し、広く県民の皆様からご意見を募集いたしました。

この度、お寄せいただきましたご意見の概要及びそれらに対する県の考え方について、以下のとおり公表いたします。

なお、お寄せいただきましたご意見は、取りまとめの都合上、主旨を要約させていただいておりますのでご了承ください。

ご意見につきましては、今後、県が取り組む施策等の参考とさせていただきます。今回、ご意見いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。ご協力ありがとうございました。

1 募集期間

2023年5月1日（月）～2023年5月30日（火）

2 意見募集時の公表資料

- ・TXの県内延伸方面（案）について
- ・TX県内延伸調査の結果について
- ・TX県内延伸に関する提言書

3 公表資料の閲覧方法（閲覧場所）

- ・インターネットによる閲覧（県ホームページ）
- ・紙による閲覧（行政情報センター、交通政策課、各県民センター県民福祉課、県立図書館）

4 意見提出方法

郵送、FAX、電子メール、いばらき電子申請・届出サービス

5 意見数

意見者数：283名・団体（個人：262名、法人・団体：21団体）

延べ意見件数：540件

6 意見の概要及び県の考え方

別紙のとおり

7 問い合わせ先

茨城県政策企画部交通政策課 鉄道グループ

TEL：029-301-2606

つくばエクスプレス（TX）の県内延伸方面（案）に対する意見の概要及び県の考え方について

① 意見提出者について

意見提出者数 **283** 名・団体 { 個人 262名
法人・団体 21団体 }

住所（所在地）内訳

住所(所在地)	件数
土浦市	72
小美玉市	63
つくば市	50
水戸市	12
石岡市	10
県内その他市町村	51
県外・不明	25
計	283

年代内訳（個人のみ）

年代	件数
20代以下	16
30代	19
40代	46
50代	53
60代	48
70代以上	41
不明	39
計	262

意見主旨の内訳

意見主旨	件数
土浦方面	125
土浦駅	119
神立駅	3
荒川沖駅	3
茨城空港方面	71
茨城空港	67
石岡経由	4
水戸方面	20
茨城空港経由	11
石岡経由	5
水戸駅	4
筑波山方面	13
県内その他の方面	3
延伸自体に反対	35
東京方面	5
どちらの方面でもない	11
意見提出者数	283

② 意見概要について

延べ意見件数

540 件

※提出者 1 名から複数の意見が提出された場合、
それぞれの意見をカウント

意見内容の整理

意見を整理すると、3 項目に集約される

① 県内延伸方面に対する意見

② 県内延伸の
今後の進め方に対する意見

③ 県内延伸に反対する意見

個別意見の内訳

意見の内容	件数
① 県内延伸方面に対する意見	328
土浦方面とする意見	169
茨城空港方面とする意見	104
水戸方面とする意見	30
筑波山方面とする意見	25
② 県内延伸の今後の進め方に対する意見	120
議論すべき内容	99
議論の進め方	21
③ 県内延伸に反対する意見	92
延伸自体への反対	85
東京方面を優先	7
延べ意見件数	540

県内延伸に賛成する意見
448

③ 意見要旨及び意見に対する県の考え方について
 <県内延伸方面に対する意見>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
土浦方面とする意見	<p>○4方面の中で、費用がかからず実現可能性が高い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と採算性を考慮すると、土浦駅への延伸が現実的である。 ・距離が短い分、早期の実現が可能。 	26	<p>○土浦方面への延伸は、延伸距離が短い一方で、常磐線との接続によりTXの延伸効果を県内全域に波及させることが可能であり、茨城空港方面や水戸方面への延伸に期待される効果についても一定程度得られることから、延伸によって得られる効果と費用のバランスを考慮すると、実現可能性が最も高いと考えております。</p>
	<p>○通学・通勤等の利便性向上、道路の混雑緩和等公共交通のサービスレベルの向上に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や水戸方面への通勤通学の利用者の増加が期待できる。 ・渋滞解消、事故防止が期待できる。 	19	<p>○本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義の一つ「自動車からの転換に向けた公共交通のサービスレベルの向上」に求める効果に合致するものであり、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○事故・災害時のリダンダンシー（代替性）の確保に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦駅で常磐線と繋がることで、緊急時、災害時に両線が補完し合える。 ・首都圏直下地震などの大規模災害発生時の避難ルートが確保できる。 	19	<p>○河川氾濫などの災害リスクや輸送障害の軽減などの効果が期待できますので、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○土浦を中心に新たな沿線開発が期待でき、地域活性化に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦駅がターミナル駅となり、新たに駅周辺のまちづくりが期待できる。 ・駅を中心に新たな宅地開発や、企業の進出等も見込まれる。 	17	<p>○新たな企業の進出やビジネスの創出等を通じて、県全体の活性化に繋げることが重要でありますので、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
土浦方面とする意見	<p>○将来的には茨城空港の延伸にも繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TX土浦延伸を契機に、将来的に茨城空港への延伸を検討していくことができる。 ・今後の観光需要喚起に向けて、将来的には茨城空港への公共交通サービス向上も検討が必要。 	17	<p>○今後の県勢発展を考える上で、茨城空港の位置付けは大変重要と考えておりますので、土浦延伸実現後、空港の着陸便数制限の緩和等、空港を取りまく状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>
	<p>○県全体への波及が期待される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道ネットワークを構築することで、県全体にTX効果の波及が期待される。 	17	<p>○本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義の一つ「TX延伸を起爆剤とした本県未来の更なる飛躍」に求める効果に合致するものであり、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○県内各地域の若年層の流出の歯止め、県外からの移住促進となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通勤通学エリアが拡大する。 ・進学先として土浦を選択しやすくなる。 	12	<p>○若者の人口流出抑制や県外からの移住促進、企業移転、通勤通学エリアの拡大などの効果も期待されますので、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○つくば市からの県内交流の拡大が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦での常磐線接続により、つくば市から茨城空港や水戸方面へのアクセス向上が期待できる。 ・つくばの拠点機能が拡大し、研究機関や大学と連携した学園都市としての魅力が更に増すことが期待できる。 	10	<p>○本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義の一つ「つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大」に求める効果に合致するものであり、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○土浦方面への延伸には賛成だが、他の接続駅を希望する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線開発・市街化されていない場所（神立駅、荒川沖駅周辺）を接続駅とした方が、沿線開発が行いやすい。 	10	<p>○土浦駅に接続する場合の方が、採算性やB/C（費用対効果）などの面で、優位性が高いと考えております。</p>
	<p>○首都圏との交流が拡大する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京圏からの2時間圏域の居住人口や面積が増加する。 ・首都圏とのアクセスエリアが広がる。 	8	<p>○本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義の一つ「東京圏からの新たな人の流れの創出」に求める効果に合致するものであり、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
土浦方面とする意見	<p>○観光誘客といった東京圏からの新たな人の流れの創出が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ浦やつくば霞ヶ浦りんりんロードといった観光地への誘客促進に繋がる。 ・その他筑波山、フラワーパーク等へ気軽に行ける。 	8	<p>○本県が目指す将来にとってのTX県内延伸の意義の一つ「東京圏からの新たな人の流れの創出」に求める効果に合致するものであり、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○公共交通への転換に向けた議論に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通のサービスレベル向上により、今後、人口減少・高齢化、環境問題等の観点で、自動車から公共交通への転換に向けた議論に繋がる。 	4	<p>○自動車からの転換により、環境負荷低減(CO2削減)や交通事故の減少、コンパクトシティの実現などの効果も期待されますので、実現可能性を高める検討の中で、期待できる効果の一つとして参考とさせていただきます。</p>
	<p>○将来的には水戸への延伸にも繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TX土浦延伸を契機に、将来的に水戸方面への延伸を検討していくことができる。 	2	<p>○将来的な水戸方面への延伸は、県内延伸の意義の一つであります「つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大」に寄与するものでありますが、延伸により、既存の常磐線や路線バスの輸送人員等に与える影響が極めて大きいことが懸念されます。</p> <p>○直接水戸方面への延伸でなくとも、土浦方面延伸により常磐線と接続することで、水戸方面延伸の意義も一定程度達成するものと判断しております。</p>
茨城空港方面とする意見	<p>○茨城空港、TX双方の利用促進に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城空港の空港利用圏の拡大に繋がることなどから、東京圏のほか、国内外からの観光面での新たな人の流れの創出が期待できる。 ・県内企業の出張での茨城空港の利用が増加する。 	23	<p>○茨城空港方面への延伸は、茨城空港の空港利用圏の拡大に繋がること期待されますが、現状、輸送人員や輸送密度、B/C(費用対効果)は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後の県勢発展を考える上で、茨城空港の位置付けは大変重要と考えておりますので、今後、空港の着陸便数制限の緩和等、空港を取りまく状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>
	<p>○県全体にTX延伸効果が波及する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県央地区と県全域の地域振興に空港を中心とした寄与が期待できる。 ・つくば市と茨城空港を結ぶ新たな公共交通機関が誕生し、地域の発展や交流が促進する。 	17	<p>○今後の県勢発展を考える上で、茨城空港の位置付けは大変重要と考えておりますが、茨城空港方面延伸は、現状、輸送人員や輸送密度、B/C(費用対効果)は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後、空港を取り巻く状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
茨城空港方面とする意見	<p>○茨城空港方面と比較した場合に土浦方面延伸には懸念点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦方面延伸では、既存路線とのパイの奪い合いの構図になる。 ・土浦では県南の発展にとどまり、県央や県北は益々取り残される懸念がある。 	17	<p>○土浦方面への延伸は、延伸距離が短い一方で、常磐線との接続によりTXの延伸効果を県内全域に波及させることが可能であり、茨城空港方面や水戸方面への延伸に期待される効果についても一定程度得られることから、延伸によって得られる効果と費用のバランスを考慮すると、実現可能性が最も高いと考えております。</p> <p>○既存路線との役割分担の在り方や沿線開発による需要拡大の方策、採算性の確保など、実現に向けては様々な課題がありますが、真摯に受け止め、一つ一つ課題解決に取り組んでまいります。</p>
	<p>○国内外の観光客、特にインバウンド需要の取り込みが期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後とも増加が期待できるインバウンドに着目したTX延伸を検討すべき。 ・羽田と成田に次ぐ国際空港となれば、他都県も延伸への理解を得やすくなる。 	13	<p>○茨城空港方面への延伸は、インバウンド需要の取り込みが期待されますが、現状、輸送人員や輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後、空港を取り巻く状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>
	<p>○茨城空港の今後の機能拡張に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な空港アクセス鉄道の構想を提示し、自衛隊側の理解と協力を得る取り組みにより、着陸便数の制限の緩和は大いに可能と思われる。 ・着陸便数規制の緩和とセットで海外便就航も拡大が期待できる。 	12	<p>○茨城空港の着陸便数の制限が大幅に緩和されれば、空港の機能拡張に繋がる可能性があります。茨城空港方面延伸は、現状、輸送人員や輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後、空港を取り巻く状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>
	<p>○茨城空港をハブとした沿線開発の効果が期待できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな駅を中心とした宅地開発、産業基盤整備を進めやすい。 ・住宅開発・工場、企業誘致等により若者達が定着し、人口増加が図られる。 	12	<p>○新たな企業の進出やビジネスの創出等を通じて、沿線地域の開発や活性化に繋がる可能性があります。茨城空港方面延伸は、現状、輸送人員や輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後、空港を取り巻く状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
茨城空港方面とする意見	<p>○旧鹿島鉄道跡地を活用した常磐線の相互乗り入れルート、新駅、複線等を検討してほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キロ当たりの建設コストを抑えた整備が可能な延伸方面である。 ・石岡駅からは鹿島鉄道跡のバス専用道を再線路化し、事業費を抑えることができる。 	5	<p>○茨城空港方面の延伸では、旧鹿島鉄道跡地の活用による経費削減の可能性もありますが、現状、輸送人員及び輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であり、効果は限定的であると考えております。</p>
	<p>○公共交通への転換及び災害への対応が可能である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道空白地帯へのTX延伸により、自動車から鉄道への転換効果が高く、さらに、環境負荷低減（CO2削減）効果も期待できる。 ・茨城空港、百里基地は、災害復旧の重要な拠点となり得る。 	3	<p>○公共交通への転換や災害への対応も期待できますが、現状、輸送人員及び輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であり、効果は限定的であると考えております。</p>
	<p>○TXと空港が繋がることで、延伸事業のイメージ向上に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城空港が延伸ルートに入ることで、県民の意識高揚が図れる。 	2	<p>○茨城空港方面への延伸は、延伸事業のイメージ向上に繋がる可能性がありますが、現状、輸送人員や輸送密度、B/C（費用対効果）は4方面の中では最も低い状況であります。</p> <p>○今後、空港を取り巻く状況が変化した場合、改めて空港アクセスの在り方について議論したいと考えております。</p> <p>○延伸事業の実現に向けては、県民の理解と協力が必要と考えてますので、様々な機会を捉えて、TX県内延伸が持つ意義や価値、有用性、必要性等を皆様と共有してまいります。</p>
水戸方面とする意見	<p>○水戸方面と比較した場合に土浦方面延伸には懸念点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土浦止まりの構想では県南のみの発展しか考えられない。 ・土浦方面延伸は距離が短く、既にバス路線が充実していることから必要がない。 	10	<p>○土浦方面への延伸は、延伸距離が短い一方で、常磐線との接続によりTXの延伸効果を県内全域に波及させることが可能であり、茨城空港方面や水戸方面への延伸に期待される効果についても一定程度得られることから、延伸によって得られる効果と費用のバランスを考慮すると、実現可能性が最も高いと考えております。</p> <p>○実現に向けた様々な課題については、真摯に受け止め、一つ一つ課題解決に取り組んでまいります。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
水戸方面とする意見	<p>○県全体の発展に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば駅から水戸までをTXで結ぶことで、県央、県北の活性化に繋がる。 	9	<p>○水戸方面への延伸は、既存の常磐線や路線バスの輸送人員等に与える影響が極めて大きいこと、直接延伸ではなく、常磐線経由であっても、TX県内延伸の意義の一つである「つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大」に寄与するものであり、土浦方面延伸により、水戸方面延伸の意義も一定程度達成するものと判断しております。</p>
	<p>○茨城空港方面延伸とセットで考える必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要都市から直行で空港へアクセスが可能。 ・茨城空港から水戸駅に接続するルートは、常磐線との競合も少ない。 	7	<p>○水戸方面に延伸する場合のB/C（費用対効果）は、常磐線との接続駅を石岡駅とした場合でも0.1未満であり、実現に向けた課題が大きいと考えております。</p>
	<p>○つくばと水戸の交流拡大に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地であり、国の出張所等がある水戸市までの公共交通ネットワークが向上する。 	3	<p>○水戸方面への延伸は、既存の常磐線や路線バスの輸送人員等に与える影響が極めて大きいこと、直接延伸ではなく、常磐線経由であっても、TX県内延伸の意義の一つである「つくばと水戸の二大都市圏の交流拡大」に寄与するものであり、土浦方面延伸により、水戸方面延伸の意義も一定程度達成するものと判断しております。</p>
	<p>○リダンダンシー（代替性）確保に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐線が途絶した場合、様々な社会的支障を来す。 	1	<p>○県内で常磐線と結節させることにより、河川氾濫などの災害リスクや輸送障害の軽減に向けたリダンダンシー（代替性）効果が期待できると考えており、土浦方面延伸案でも、一定程度目的は達成できるものと判断しております。</p>
筑波山方面とする意見	<p>○更なる観光発展に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高尾山と比較しても、アクセス面でも引けを取らない観光地になる。 ・TXに、観光の要素が加わると、休日の利用者を増やせる。 	11	<p>○筑波山方面への延伸により、東京圏からの誘客効果が期待される一方で、更なるオーバーツーリズムを招くおそれやつくばと水戸の交流拡大や常磐線のリダンダンシー（代替性）には寄与しないとの懸念もあり、延伸による効果は限定的と判断しております。</p> <p>○また、筑波山への観光客の誘客は、土浦方面への延伸に際しても重要な課題と考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
筑波山方面とする意見	<p>○筑波山方面と比較した場合に土浦方面延伸には懸念点がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐線の乗客数を減らしてしまうため、常磐線の減便につながり、常磐線沿線の方の利便性が損なわれるおそれがある。 ・延伸距離が短いので、周辺の開発効果も少ない。 	10	<p>○土浦方面への延伸は、延伸距離が短い一方で、常磐線との接続によりTXの延伸効果を県内全域に波及させることが可能であり、茨城空港方面や水戸方面への延伸に期待される効果についても一定程度得られることから、延伸によって得られる効果と費用のバランスを考慮すると、実現可能性が最も高いと考えております。</p> <p>○実現に向けた様々な課題については、真摯に受け止め、一つ一つ課題解決に取り組んでまいります。</p>
	<p>○通勤通学エリアが広がり、移住促進にも繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未開拓の場所も多く、今後通勤圏としての住宅も増える。 	4	<p>○筑波山方面延伸案は、通勤通学エリアが筑波山周辺地域まで拡大されることにより、若者の人口流出を抑制する効果や移住促進効果が期待できる一方で、つくばと水戸の交流拡大や常磐線のリダンダンシー（代替性）には寄与しないとの懸念もあり、延伸による効果は限定的と判断しております。</p>

<県内延伸の今後の進め方に対する意見>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
議論すべき内容	<p>○将来に繋がるルート・駅の設定が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅を中心とした沿線開発を検討していく必要がある。 ・TXと常磐線の乗り換えがスムーズな駅の位置、構造が必要。 ・常磐道 IC、大型商業施設等と連携し、沿線開発に繋がるルート設定が必要。 	39	<p>○4方面を比較した場合、土浦方面以外での常磐線との接続は現実的ではないと提言されております一方で、最も実現可能性が高いとされている土浦方面案でも、現状のまま延伸ではB/C（費用対効果）は0.6であり、収支採算性も赤字が見込まれております。</p> <p>○こうした中、まずは土浦方面案の実現可能性をさらに高めるため、学識経験者などのご意見もいただきながら、採算性確保が可能な延伸ルートや事業スキーム等の検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
議論すべき内容	<p>○B/C(費用対効果)、採算性の再シミュレーションが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B/C等シミュレーションには東京方面も含めるほか、様々な間接効果・波及効果を盛り込んだ検討が必要。 ・社会的な効果も把握し、費用面だけではない検討が必要。 	12	<p>○第三者委員会でも、TX県内延伸と既存路線やTX東京延伸とを一体的に扱う、いわゆるパッケージとしての事業評価や費用対効果分析の実施も検討していく必要があるとの提言をいただいております。</p> <p>○計画を具体化させていく中で、適宜、学識経験者などのご意見をいただきながら、検討を進めてまいります。</p>
	<p>○利便性の向上のため、相互乗り入れの検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常磐線との相互乗り入れにより、つくば一水戸間を乗り換えなく移動できるようになる。 ・他路線の相互乗り入れ事例を参考に、各路線の共存共栄を図る努力が必要。 	12	<p>○今後採算性確保が可能な延伸ルートや事業スキーム等の検討に際して、慎重に検討すべき視点として参考とさせていただきます、より実現可能性の高い延伸計画素案の策定に努めてまいります。</p>
	<p>○コスト削減策の検討が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存道路の活用や単線化によるコスト削減策を検討する必要がある。 ・商業施設と連携した駅設置など、民間出資が得られる事業検討が必要。 	12	<p>○コスト削減の方策は、県内延伸の実現可能性を高める上で重要な検討課題と考えております。</p> <p>○いただいた意見も参考に、建設と運用の両面からコスト削減の方策を検討してまいります。</p>
	<p>○TX、JRの賛同に向けた取組が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TXとJR、周辺自治体がwin-winとなるプランを議論してほしい。 ・沿線開発を含めた総合的な案を作成し、TXやJRの意見を聞く必要がある。 	8	<p>○県内延伸の実現に向けては、鉄道会社や沿線自治体などの関係者間での合意形成が不可欠でありますので、いただいた意見も参考にしながら、まずは、関係都県など関係者との調整のベースとなる県としての延伸素案を検討してまいります。</p>
	<p>○状況によっては立ち止まるなど慎重な議論も必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤字が見込まれる部分は、再考していくべき。 ・TX延伸以外の政策等との比較検討が必要。 	4	<p>○将来に向けて本県を発展させていくためには、TXをつくば駅から延伸させ、TXの整備効果を県内全域に波及させることが重要であると考えます。</p> <p>○今後、実現可能性を高めていくため、まずは、採算性の確保に向けた方策の調査・検討を行い、関係都県や鉄道事業者との合意形成に向けた協議のベースとなる素案を策定し、関係者の理解を得られるよう努めてまいります。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
議論すべき内容	<p>○地域のブランドづくり、延伸先の観光資源の活用、磨き上げが必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくば、土浦のブランドをしっかりと確立していく必要がある。 ・土浦周辺の観光資源を上手く活用して行くべきである。 	4	<p>○県内延伸により、新たな人の流れを創出するためにも、沿線のブランドづくり、既存の観光資源の活用・磨き上げが必要と考えております。</p> <p>○今後、地域のニーズの把握等に努めるとともに、専門家の意見も参考としながら、検討を進めてまいります。</p>
	<p>○開発による環境の影響を考慮すべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばー土浦間には、土浦市宍塚の里山やつくば市吉瀬の里山など、生物多様性の配慮が必要な地域がある。 	4	<p>○今後、具体的な延伸ルート、工事手法の検討に際し、環境への影響も考慮してまいります。</p>
	<p>○公共交通への転換に向けた議論が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通への転換意識に繋がるよう、公共交通サービス向上の検討が必要。 ・TX延伸だけでなく、延伸先の周辺地域から駅へのアクセスについても、同時に検討が必要。 	3	<p>○「自動車からの転換に向けた公共交通のサービスレベルの向上」はTX延伸の重要な意義の一つでありますので、実現可能性を高める検討の中で議論してまいります。</p>
	<p>○国の理解を得る必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国策に貢献する事業と連携し、延伸について国の理解を得ていくべき。 	1	<p>○実現可能性を高めるため、国の助言を得るとともに、国の施策とも整合性を図りながら、関係者との合意形成に向けた素案を検討してまいります。</p>
議論の進め方について	<p>○多様なメンバー（沿線自治体、国、関連事業者、専門家等）での協議を進めるべきである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、もっと現実的で具体的な案を考えていく必要がある。 ・B/C（費用対効果）を上げていくためには、県と自治体とのより密接な協力関係が必要。 	17	<p>○県内延伸は、県民の関心も高く、関係者も多岐に及ぶほか、検討すべき課題も多岐にわたります。</p> <p>○県内延伸の実現に向けては、幅広い視点での検討が重要と考えており、いただいたご意見については、今後の取組の参考とさせていただきます。</p>
	<p>○算出データ等、委員会資料等の公開をしてほしい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開資料が簡素すぎる。 ・算出データの根拠を知りたい。 	2	<p>○第三者委員会の資料の公表は、委員会で議論される前の未成熟な情報も含まれていたため、混乱を生じないよう、公表しないこととしておりました。方面決定後には公表してまいります。</p> <p>○なお、議事録につきましても、個人を特定できる情報や機密事項、非公開の情報が含まれる可能性があること、非公開とすることで、自由な意見交換ができる環境を確保する観点から、議事概要として公開しております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
議論の進め方について	○住民全体による盛り上がりが必要である。 ・住民全体で応援して、関係機関を動かしていくエネルギーが必要。	1	○県内延伸の実現に向けては、地元住民はもとより多くの県民の理解促進や機運醸成が必要と考えますので、様々な機会を捉えて、TX県内延伸が持つ意義や価値、有用性、必要性等を皆様と共有してまいります。
	○会議に傍聴制度を取り入れるべき。 ・今後の議論に際しては、会議の傍聴制度もあると良い。	1	○会議の傍聴につきましては、個人を特定できる情報や機密事項等を扱う可能性があることや、自由な意見交換ができる環境を確保する観点から、全面的な公開は難しいと考えておりますが、県内延伸の実現に向けては、TX県内延伸が持つ意義や価値、有用性、必要性等を皆様と共有することが重要でありますので、可能な限りオープンな形で議論を進めていけるよう努めてまいります。

<県内延伸に反対する意見>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
採算性、B/C（費用対効果）、事業の必要性について	○採算性に乏しく、赤字となる延伸は必要ない。 ・赤字となる試算にもかかわらず、延伸を進めることに理解できない。 ・採算性が向上する見込みがない。	15	○将来に向けて本県を発展させていくためには、TXをつくば駅から延伸させ、TXの整備効果を県内全域に波及させることが重要であると考えます。 ○今後、実現可能性を高めていくため、まずは、採算性の確保に向けた方策の調査・検討を行い、関係都県や鉄道事業者との合意形成に向けた協議のベースとなる素案を策定し、関係者の理解を得られるよう努めてまいります。
	○利便性向上がみられず、需要が拡大しない。 ・時短効果が大きくないので、利用者が大きく増えることはない。 ・通勤時間帯や駅の構造によっては、時間短縮は望めない。	8	○TX延伸は、東京への速達性向上のみならず、本県の将来に向けた発展、気候変動や災害リスクの増加など環境の変化への対応、さらには、自動車から公共交通への転換などの面からも大きな意義を有するものと考えております。 ○鉄道ネットワークが形成されることで利便性向上が期待できると考えておりますので、需要拡大の方策についても、実現可能性を高める検討の中で検討の深度化を図ってまいります。

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
採算性、B/C（費用対効果）、事業の必要性について	<p>○今後の沿線開発が期待できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばー土浦間は既に開発されていることから、大規模な開発が期待できない。 	7	<p>○TX延伸は地元自治体の期待も高く、現行の土浦市の総合計画においても、「つくば経済圏内での交流を促進し、市民の生活利便性を向上させるとともに、県南の中核都市の責務として、圏域全体の発展に寄与するため、また、広域的な防災・減災に貢献する観点から、未来の交通ネットワークの形成に向けて、TXの土浦市への延伸を目指す」ことが盛り込まれております。</p> <p>○今後、地元自治体と連携し、沿線開発等の需要拡大方策を検討してまいります。</p>
	<p>○B/C（費用対効果）が1以下であり、事業として不適格である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの案もB/Cが1以下であるのであれば、比較検討の必要がない。 ・B/Cが1を超える別案を検討しなおすべき。 	7	<p>○4方面の中で最も実現可能性が高いとされている土浦方面案でも、現状のまま延伸ではB/C（費用対効果）は0.6であり、収支採算性も赤字が見込まれております。実現に向けた様々な課題については、真摯に受け止め、一つ一つ課題解決に取り組んでまいります。</p> <p>○なお、4方面案の絞り込みに際しては、現状を客観的に比較するため、新たな需要（沿線開発、自動車からの転換等）を見込んでおりません。</p> <p>○今後、実現可能性を高める検討の中で、新規需要の創出、公共交通への転換の方策についても検討の深度化を図ってまいります。</p>
	<p>○つくば駅が終点であるメリットが損なわれる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・始発駅であるつくば駅周辺のメリットがなくなる。 ・つくば駅周辺の衰退が懸念される。 	6	<p>○TXは、県内の交通を支える重要なインフラであり、土浦方面延伸により、県全体の発展に貢献することが期待されます。</p> <p>○TX土浦方面延伸により、より多くの人々が利用できるようになれば、TXのブランド力は更に高まると考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
採算性、B/C（費用対効果）、事業の必要性について	<p>○県全体の発展に寄与しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県南だけの限定的な発展になる。 ・茨城県全域で誘客できる交通ルートとしての考えがない。 	5	<p>○東京圏からの新たな人の流れの創出や、常磐線との接続によるつくばと水戸の二大都市圏の交流拡大、自動車からの転換に向けた公共交通のサービスレベルの向上等の効果により、県全体の活性化が図られると考えております。</p>
	<p>○鉄道延伸ではなくバス等代替手段があればよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BRT など、より低コストで行える選択肢がある。 ・既存のバス路線を充実すればよい。 	4	<p>○鉄道は定時性に優れており、大量の人々を一度に輸送できるため、交通渋滞を緩和し、輸送効率を向上させることができるほか、CO2の削減効果も期待できます。</p> <p>○また、周辺地域の開発を促進し、都市の発展にも貢献できると考えております。</p>
既存の交通機関・事業者への影響	<p>○延伸により既存路線への悪影響が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収益面でJRにデメリットが生じるのではないか。 ・鉄道コストが増え赤字となれば、運賃値上げに繋がる。 	8	<p>○4方面を比較した場合、土浦方面延伸が既存の常磐線や路線バス等の輸送人員に与える影響については、一定程度にとどまっております。</p> <p>○土浦方面延伸案は、常磐線を経由することで効率的に「つくばと水戸の交流拡大」を図るものであり、常磐線とTXの結節により、県全体の公共交通のサービスレベルが向上し、公共交通の利用拡大が期待できると考えております。</p>
慎重な検討が必要	<p>○延伸方面の決定前に更なる調査や調整等、より慎重な検討が必要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線開発の効果を比較検討する必要があるのではないか。 ・もっと県民の意見を聞いて検討していくべきである。 	18	<p>○4方面案の絞り込みに際しては、現状を客観的に比較するため、現時点で都市計画決定されていない沿線開発や誘致決定されていない企業の進出等による効果は見込んでおりません。</p> <p>○今後の県内延伸の実現可能性を高める検討において、沿線開発や企業誘致による需要創出効果などについても検証してまいります。</p>
	<p>○自動車から公共交通への転換が期待できない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ自家用車による移動が大多数を占めているのか根本原因を考える必要がある。 ・今後は電気自動車、自動運転車が主流になり、公共交通への転換は難しい。 	3	<p>○公共交通には、交通事故防止等の安全面の向上や外出機会の拡大による健康促進等、多面的な効果があるほか、常磐線とTXの結節は、県全体の公共交通のサービスレベル向上に寄与し、自動車からの転換も期待できると考えております。</p>

項目	意見要旨	件数	意見に対する県の考え方
慎重な検討が必要	<p>○関係都県の理解が得られない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TX沿線自治体（東京都、千葉県、埼玉県）の負担を考えると実現は難しいのではないかと懸念される。 	2	<p>○今後、実現可能性を高めていくため、まずは、採算性の確保に向けた方策の調査・検討を行い、関係都県や鉄道事業者との合意形成に向けた協議のベースとなる素案を策定し、関係者の理解を得られるよう努めてまいります。</p>
	<p>○環境・景観、自然災害の影響が懸念される。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿線開発による環境への悪影響を懸念する。 ・土浦駅周辺は河川氾濫のリスクがある。 	2	<p>○環境基本法や環境影響評価法など関係法令にのっとり適切に対応いたします。</p> <p>○高架構造を有するTXとの接続により、全体的にはリダンダンシー（代替性）強化が図れると考えております。</p>
東京方面を優先する意見	<p>○現在の契機を逃さず東京延伸を実現する必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海地下鉄新線との接続に全力を尽くすべきである。 	4	<p>○今後の県勢発展のためには、県内延伸と東京延伸ともに必要と考えております。</p> <p>○TX東京延伸と県内延伸を一体的に捉え、併せて実現することを目指してまいります。</p>
	<p>○全国各地に向けた大幅な利便性向上に繋がる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つくばー東京駅、羽田空港まで結ばれる可能性がある。 	3	<p>○TX東京延伸と県内延伸を一体的に捉え、併せて実現することにより、全国各地とのアクセスの良さが飛躍的に向上するほか、リダンダンシー（代替性）が強化され、多大な相乗効果が期待できることから、東京延伸は、県内延伸と並んで重要な課題であると認識しております。</p>